

◎幸福と平和を創る智慧 第3部 上

世の中には三種類の間がある。いてもらいたい人、いてもいなくてもどちらでもいい人、いては困る人

家庭でも、職場でも、地域でも、人々から信頼され、尊敬され、好かれ、人々のために必要であり、欠かせない人になっていくことが、正法の信仰の証であり、広宣流布の前進なのである

(『幸福と平和を創る智慧 第3部 上』99ページ)

◎新・人間革命 命宝の章

心の力は無限である。たとえ、「蔵の財」や「身の財」が剥奪されたとしても、「心の財」があれば、生命は歓喜に燃え、堂々たる幸福境涯を確立することができる。

「心の財」は、今世限りではない。三世にわたり、永遠にわが生命を莊嚴していく。それはまた、「蔵の財」「身の財」をもたらず源泉ともなる。

人間の本当の幸福は、蔵や身の財によって決まるのではない。心の豊かさ、強さによって決まるのだ。どんな逆境にあらうが、常に心が希望と勇気に燃え、挑戦の気概が脈打っているならば、その生命には、歓喜と躍動と充実がある。そこに幸福の実像があるのだ

(『新・人間革命』第22巻334ページ)

◎開目抄

「当世・日本国に第一に富める者は日蓮なるべし命は法華經にたてまつり名をば後代に留べし」

(御書223ページ)